

2016 4 ストローク・スポーツカート耐久レース規則書

参加者は、本規則を熟読の上、申込期日までに手続きを行って下さい。

【開催日程】

第1戦	2月14日(日)	第6戦	12月18日(日)
第2戦	4月23日(土)		
第3戦	6月25日(土)		
第4戦	8月27日(土)		
第5戦	10月29日(土)		

※日曜日開催はデーゲーム、土曜日開催はナイターでのレースとなります。

※上記日程は変更になる場合がありますので、必ずレース毎にご確認下さい。

※スポーツカートをレンタルして耐久レースへ参加する場合は、上記のレース日程となります。

※リミッター付きのレンタルカートのみによるレースは、別日程で開催いたします。

① タイムスケジュール

＜デーゲーム＞

8:30～	ゲートオープン	12:00～	全ての走行終了
9:00～	受付開始・抽選・レスコン配布	12:30～	参加者ミーティング
9:30～	フリー走行(有料)	13:00～	耐久ヒート開始
10:00	受付終了	15:15～	耐久ヒート終了
11:00～	練習走行開始	15:45～	表彰式・閉会式

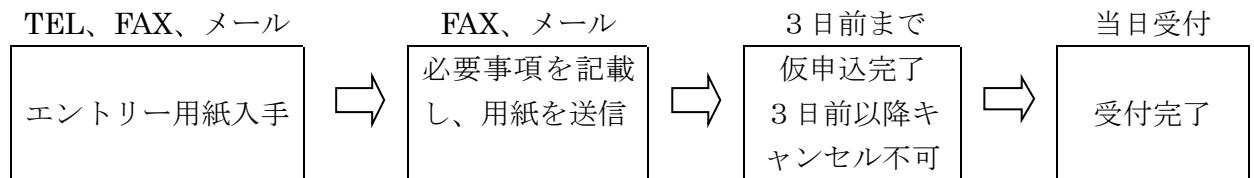
＜ナイターゲーム＞

18:00～	受付開始・抽選・レスコン配布	19:30～	耐久ヒート開始
18:10～	受付完了者から随時練習走行	21:45～	耐久ヒート終了
18:40	受付終了	22:00～	表彰式・閉会式
19:00～	参加者ミーティング	23:00～	ゲートクローズ

※上記スケジュールは変更になる場合があります。必ずレース毎にご確認下さい。

② 参加申込

1. 参加資格：18才以上で普通自動車免許証を有する方。(特例：18才未満でもレース経験等主催者が認める者) 要するに、主催者認定者としますが、クラス毎に相違があり、それぞれの条件を満たす必要があります。詳細は、巻末のクラス区分表を参照して下さい。
2. 仮申込：電話、FAXまたはメールでエントリー用紙を入手し、メール、FAXまたは郵送にてエントリー用紙を送付し仮申込を済ませて下さい。この時点で、チーム全員の氏名は記入されなくても結構ですが、チーム名、代表者氏名とその連絡先の記載がないものは受理できません。仮申込期限は開催日の3日前までとしますが、定員になり次第締め切ります。定員に達していない場合は当日まで延長致します。
3. 受付までの流れ



エントリー用紙・規則書はホームページからダウンロード可能です。

4. 服装について：ヘルメット、グローブ、長袖（風でバタつかないもの）、長ズボン、運転に適したシューズ。

③ 受付確認

1. チーム代表者またはその代理者は、必要事項を全て記載したエントリー用紙に参加費用を添え、受付確認を済ませて下さい。受付した順にカート抽選及びグリッド抽選を行います。
2. レンタルカートのエントリーフィーは ¥26,000
3. スポーツカートクラスのエントリーフィーは ¥14,000 + ¥1,500 × ドライバー人数（上限¥20,000）
4. ヘルメット・グローブのレンタルは有料です。ヘルメット（フェイスマスク付）800円・グローブ200円を受付の際にお申し出下さい。

④ 注意事項

1. 受付が済んだチームは抽選で決まったカートのパドックで走行準備を行って下さい。
2. エンジン始動：スイッチをONにしてリコイルスターターをゆっくりと長く引いて始動（強すぎたり、早すぎたりするとデコンプ機能が解除されます）します。エンジンが冷えて掛かりにくい場合はチョークレバーを手前に引いて始動します。（始動後、アイドルが安定しない場合は、チョークレバーを1/2→全閉と段階的に戻してください。約10分で安定致します。）※別途図解1
3. 給油：必ずエンジンを停止してから行い、給油口からあふれ出す事の無いように少量ずつ給油して下さい。燃料キャップを閉める際は、給油口のフィルターと給油口の切り欠き部分を揃え、燃料キャップ裏面のツメに合わせて右に廻して閉めてください。（力づくに閉めるとフィルターが燃料タンク内に沈んでしまい、燃料のあふれだしやキャブレタートラブルの原因となります）※別途図解2
4. 練習走行は定められた時間内で行って下さい。ドライバーの交代は自由です。

⑤ 一般事項

1. 賞典：周回数の多いチームから1～3位をクラス毎に表彰する。同一周回の場合はチェッカーを受けた順序とする。
2. スタートの方法：スタンディングスタートとします。ピットからコースインして、定められたグリッドへ向かいますが、この時、ピットクルー1名がコース内に入り、自チームのカートをグリッドポジションへ誘導して下さい。スポーツカートクラスのグリッドは抽選で決定し、その後方にレンタルカートクラスがゼッケン順に並びます。
3. レース中、5回のピットインが課せられます。チェーンオイルをチェーンの内側へ塗布（レース中2回程度で可）し、給油などの一連のピット作業を安全に行う為、3分間のピットストップを義務付けられます。ピットロードのコントロールタワー前で一旦停止した時点から3分間の計測を開始し、オフィシャルの合図を基に指定された場所からスタートします。5回のピットストップを完了できない場合は、リタイヤ扱いとなります。6回目以降のピットインに時間制限はありません。
4. コース上でカートが停止した場合の対処

(a)すぐに両手を挙げる（ドライバーサイン）、後続のカートに存在を知らせる。



エンジンが掛かっている場合

後続のカートに影響を与えないよう集団が通り過ぎてから再スタートすること
方向転換する場合は細心の注意を払うこと、方向転換中に事故があった場合は、
100%そのドライバーの責任（妨害行為）となります。

エンジンが停止している場合



(b)後続のカートがいなくなったらカートを降り、安全な場所（走行ラインを避ける）にカートを
移動し、エンジン始動を行う。



(c)カートに乗り込んだら後方を確認し、後続のカートが通り過ぎてから発進すること。

※ 自分でエンジン始動が出来ない場合や対応の出来ないトラブルが発生した場合は、(a)のド
ライバーサインを優先しつつ、頭上で両手を交差し、オフィシャルヘレスキュー要請して
下さい。停止したドライバーには、オフィシャルが到着するまで事故の引き金にならない
よう他のカートへ注意喚起する義務があります。

5. コース内でのイエローフラッグは基本的に危険や何らかのトラブルが発生している区間です。イエ
ローフラッグによって危険が予告された場合、ドライバーはイエローフラッグ提示地点から危険箇
所を通過するまでの区間は徐行し、追越をしてはならない。

ナイトレースの場合は、旗の指示の代わりに赤色のLED誘導灯（ピカピカ棒）の点灯や点滅で
危険の予告を行います。

6. 赤旗について

赤旗はレース中断。赤旗確認後、全車コース上を徐行してピットインする事。赤旗の原因が解消さ
れるまでレース中断とする。赤旗が提示された時点の前の周回数を基にグリッドを決め、レースを
再開する。また、スタート直後に赤旗が提示された場合、再レースとなる場合もあります。ナイト
ーの場合、赤旗の他に回転灯を用いることもあります。

7. オレンジボール旗（黒旗に丸いオレンジ色のディスク）

オレンジボール旗を提示された車両はピットインしなければならない。オレンジボールは指導が必
要なドライバーや、車両にトラブルがある場合にゼッケン（指さしの場合もある）と共に提示され
ます。

8. レース中コースアウトやクラッシュ等の乱暴な走行により車両にダメージが出た場合、その度合い
によってはリタイヤとなり、エントリーフィーは返金されません。また、車両のダメージに関する
修理代が必要となった場合は、その支払い義務が発生いたします。

9. ピットロードの走行について

ピットロードは本来、参加者以外の者が立ち入ることが許されない場所です。このレースではピリ
ピリした競技色を排除するため、応援団がコースサイドへ立ち入って応援することを認め、むしろ
全員で楽しんで頂くよう声かけを致しております。ドライバーの皆さんは、この開催趣旨を十分に
ご理解頂き、事故防止のため最徐行でピットロードを走行して下さい。スタッフから度重なる指導
を受けたり、スピードの出し過ぎで重大な事故を起こした場合は、次回からの参加をお断りする場
合がありますのでご了承下さい。

■ タイムハンディ制（マイスタークラス）について

入賞したチームは、今後のレースに於いてピットストップハンディが課せられます。詳細については、別途ご案内いたします。

■ 参加車両について

★マイスタークラスおよびエンジョイ（レンタルも含む）クラス

エンジン・・・排気量200ccの4サイクル汎用エンジンで主催者が認めるもの。

市販状態で一切の改造は禁止される。但し例外の部品もあるので主催者の確認を得ること。また、整備等で場外へ持ち出すことは基本的に禁止致します。やむを得ない事情で持ち出した場合は、主催者が分解点検致します。この場合に掛かる費用は所有者の負担とさせていただきます。

注・・・エンジンとは、燃料タンク、電装系（キルスイッチを除く）、スターター関係、キャブレター、吸気系及び排気系部品全般、以上の総称である。

フレーム・・・基本的にCIK公認であること。フロントブレーキは禁止、改造箇所はエンジン搭載に関わる部位に限定、ボデーワークは必備、危険な部位がないこと。持込の場合は主催者の承認を得ること。ナイターという環境から車体に電飾等を取り付けることを認めますが、破損した場合の影響を少なくするため、できるだけ小さなものを選定して下さい。また、レンズ部分に透明テープで飛散防止処置を施して下さい。形状、照度、大きさに規定は設けませんが、レース運営上支障が出る場合、取り外しを命ずることもあります。

ボディワーク・バンパーおよびカウル類の車体外装は必備とする。製品の年式は問わないが、専用の製品として公認を受けたものであること。

タイヤ・・・全クラス、メーカー：Unilli（台湾製）の下記サイズを指定する。

フロント・・・10×4.5-5

リア・・・11×6.0-5

ホイールは、フロント130mm、リア180mm程度とし、材質は問わない。

★ レンタルカートクラス

参加車両は全て会場で用意するレンタルカートを使用し、参加者が改造および手を加えることはできない。使用するカートは抽選により決定されるが、シートに合わない体型やペダルに足が届かない場合は、主催者の権限で変更する。車両やエンジンの個体差に関しては、異議申し立てができない。

★ 全てのレースにおける共通事項

レースに参加する者は、レース中の事故やケガ、身体および物品に対する損害を被ることが容易に予測されます。その危険性について十分理解し、仮に事故等があっても相手や主催者およびその関係者等を非難したり損害賠償の請求等をおこさない旨の誓約書を提出しなければならない。事故が起きた時の補償を求める場合、参加者自身が保険に入ること。要するに、自己責任で参加することが求められます。

また、レース結果やジャッジに関する申し立てや抗議も一切受け付けません。